

# 平成 21 年度豊川市公共施設環境率先行動計画の進捗状況(報告)

平成 22 年 11 月

経済環境部環境課

市は、事業者としての立場から、平成 13 年 3 月に環境率先行動計画を策定し、市役所の環境負荷を低減する取り組みを実施し、平成 19 年度からは市の全ての機関が実施する事務及び事業を対象に取り組んでいます。

計画の目標は、平成 23 年度までに達成すべき数値目標とし、この数値目標の達成に向けて各課等において取り組みました。

## ・数値目標

### 省エネルギーの推進に関する目標(温室効果ガス排出量)

項 目		基準年度 (17 年度)	目標年度 (23 年度)	目標削減率
総排出量(t - CO <sub>2</sub> )		9,860	9,367	5%
内訳	事務所系	989	940	
	事業所系	6,655	6,322	
	市民利用施設系	2,216	2,105	

### 省資源の推進に関する目標

項 目	17 年度 (基準年度)	23 年度 (目標年度)	目標削減率
用紙購入量(A4 換算 枚)	41,920	39,824	5%
水道使用量(m <sup>3</sup> )	307,451	292,078	5%

## 1 平成 21 年度の取組み結果

平成 21 年度の各項目の取組み結果は、下記のとおりです。

### 省エネルギーの推進に関する項目(温室効果ガス排出量)

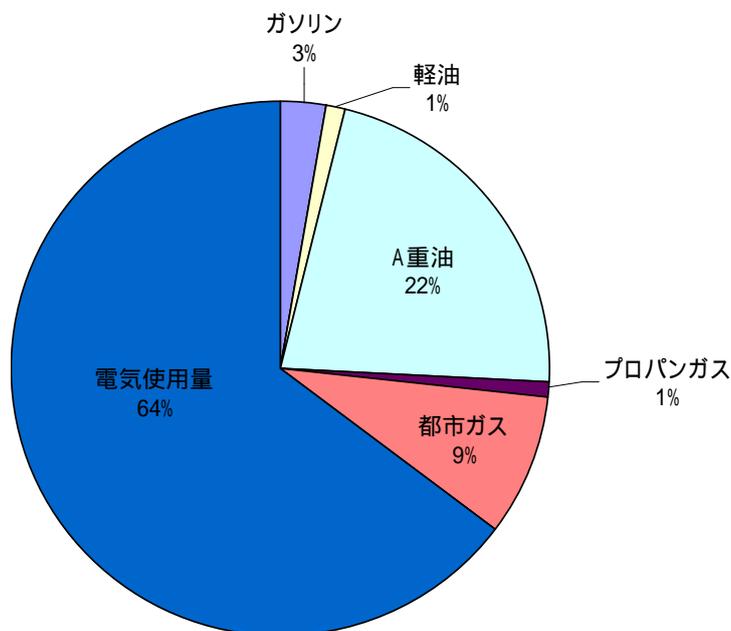
項 目		基準年度 (17 年度)	20 年度	21 年度	削減率 (基準年度比)
総排出量(t - CO <sub>2</sub> )		9,860	10,031	9,678	1.9%削減
内訳	事務所系	989	981	1,093	10.5%増加
	事業所系	6,655	6,835	6,523	2.0%削減
	市民利用施設系	2,216	2,100	2,062	7.0%削減

### 旧音羽町、旧御津町施設を含めた数値(温室効果ガス排出量)

項 目	基準年度 (17 年度)	20 年度	21 年度
総排出量(t - CO <sub>2</sub> )		11,551	11,205

旧小坂井町、音羽町、旧御津町施設を含めた数値(温室効果ガス排出量)

項目	基準年度 (17年度)	20年度	21年度
総排出量(t-CO <sub>2</sub> )			11,665



(参考) 図 豊川市の事務事業による温室効果ガス排出量の項目別割合

省資源の推進に関する項目

項目	17年度 (基準年度)	20年度	21年度	削減率 (基準年度比)
用紙購入量(A4換算 枚)	41,920	53,237		
水道使用量(m <sup>3</sup> )	307,451	306,888	298,780	2.8%減少

参考値:概算算出

旧音羽町、旧御津町施設を含めた数値

項目	17年度 (基準年度)	20年度	21年度
用紙購入量(A4換算 枚)		57,954	
水道使用量(m <sup>3</sup> )		365,997	350,672

旧小坂井町、旧音羽町、旧御津町施設を含めた数値

項目	17年度 (基準年度)	20年度	21年度
用紙購入量(A4換算 枚)			73,385
水道使用量(m <sup>3</sup> )			370,672

省エネルギーの推進に関する項目(温室効果ガス排出量)は基準年度比 1.9%減少しています。内訳でみると、事務所系で基準年度比 10.5%増加していますが、事業所系は基準年度比 2.0%と減少し、さらに市民利用施設系で基準年度比 7.0%減少した結果となりました。排出原因別でみると、ガソリンが基準年度比 19.8%増となり、最も増加しています。

省資源の推進に関する項目のうち水道使用量は減少しましたが、用紙購入量(参考値)は増加した結果となりました。

## 2 各課の取組み状況

すべての職員が環境保全に取組む必要から、行動計画チェックシートにより取組み状況を確認し、各職場の実行委員が評価しました。

13 項目の「具体的な取組み」の評価を実施し、それを取りまとめたものです。平成 21 年度の平均点は 4.2 となり、前年度平均より 0.1 ポイント上昇し、徐々に意識が高まってきているといえます。

しかし、『両面印刷、「2in1」機能の活用』や「使用済用紙等の裏面利用」については、前年度、前々年度同様、評価が低いため、コピー機能の効果的活用を進めるとともに、個人情報の管理に配慮した使用済用紙の裏面利用の促進を図る必要があります。

職場ごとの評価結果は、A 評価が前年度下半期 55.4% に対して、21 年度上半期 59.3%、下半期 60.9% となっており、取組が推進されています。

### 各課採点集計表

項 目	21 年度 上半期	21 年度 下半期	21 年度 年間平均
不要な照明器具の消灯	4.1	4.2	4.2
時間外勤務の縮減	3.9	4.0	4.0
使用していないIOA機器の電源を切る	3.9	3.9	3.9
退庁時などの待機電力の削減	4.3	4.3	4.3
階段の積極的な利用	4.8	4.8	4.8
近距離の移動は徒歩、相乗り実施	4.1	4.1	4.1
エコドライブの実施	3.9	4.0	4.0
必要部数以上作成しない	3.9	3.9	3.9
<b>両面印刷、「2in1」機能の活用</b>	<b>3.9</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>
庁内LAN、Eメールの活用	4.2	4.2	4.2
<b>使用済用紙等の裏面利用</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>
封筒使用削減、使用済み封筒の再利用	4.4	4.5	4.5
蛇口をこまめに閉めるなど節水の励行	4.6	4.7	4.7
平 均 点	4.1	4.2	4.2

評価採点基準
5...確実に実行している(100%)
4...ほぼ実行している(80%)
3...だいたい実行している(50%)
2...あまり実行していない(50%未満)
1...実行していない
- ...該当しない

### 評価結果

評価点	21年度 上半期	21年度 下半期
A	59.3%	60.9%
B	39.0%	37.5%
C	1.7%	1.6%

評価基準	
A	該当する全ての項目が3点以上で4点以上の項目が8以上ある場合
B	A又はC以外の場合
C	2点以下の項目が1つでもある場合

### 3 目標の達成に向けて

環境率先行動計画に基づく環境負荷を低減するための取組により、二酸化炭素の排出量などで、効果の出ている施設も見られましたが、多くの施設において、引き続き一層取組の推進が必要です。それぞれの項目についての取組は次のとおりです。

#### 温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量のうち最大の排出要因である電気について、重点的に取組を推進します。

具体的には、不要な照明の消灯やOA機器の電源を切るなど職員による一層の取り組みを推進します。

また、市民利用施設においては、啓発活動を行うとともに、全ての施設においてハード面での改善(省電力機器、太陽光発電システムの導入など)について検討します。

#### 電気、ガス、燃料等使用量

ガソリン、軽油など自動車燃料の使用量については、事務所系で増加しています。

今後、相乗りの推進や、公用車5台に設置した燃費マネージャーを活用し、エコドライブの実施(やさしい発進の心がけや、無駄なアイドリングを止めるなど)や低公害車の導入を推進します。

灯油、A重油などの施設の燃料の使用量については、更新の際に省エネルギー型設備の導入や施設の断熱性の向上を図るなど検討します。

#### 用紙類使用量

両面印刷、裏面利用を積極的な実施や、庁内LANの有効利用を図り、文書を印刷せずに電子媒体として扱うことによって、一層のペーパーレス化を推進します。

#### 水道使用量

多くの施設で削減効果がみられています。引き続き蛇口をこまめに閉めるなど、節水への取組を推進していきます。

#### その他

今後、環境に対する意識の向上を目的とした職員研修の実施や、改善が見られない施設においては、聞き取り調査を実施するなど、目標数値の達成に努めていきます。

平成20年1月には音羽町・御津町との合併があり、人員、施設が大きく変化しました。平成22年2月には小坂井町との合併もあったことから、今後、新たな目標数値の設定が必要となります。平成20、21年度の実績数値等を見ながら、目標数値を設定し、取組推進を図るべく計画の修正を実施します。